

# 年少4歳児 さくら組 保育指導案

指導者 石 塚 のり子

- 1 活動名 おもしろいこと みつけたよ いっしょに やってみよう！  
(こどもまつり)

## 2 活動のねらい

- ・その子なりにこどもまつりにかかわることを発想したりこれまでに経験したことから気付いたりしたことを遊びに取り入れ、工夫しながら遊ぼうとする。
- ・友だちに気持ちを寄せ、一緒にイメージを膨らませたり共感・共有したりして、こどもまつりの遊びをつくる。

## 3 保育の構想

(1) 本学級の子どもを以下の3つの視点でとらえた。

### ①生活について

本学級は、男児9名、女児7名、計16名（うち3名9月より転入）の学級編成である。

1期、2期は園での生活習慣の習得に個人差が見られた。園での生活習慣を身に付けることが、一人一人が安定した園生活を送る基盤と考えた。そこで、個別に保育者が関わったり、学級での環境づくりを工夫したりした。園での生活リズムや基本的な生活習慣が身に付き、そのことが自信につながった。3期では、一人一人が自分の興味や関心に応じてしたい遊びを見つけ、意欲的に向かっている。自分のことだけでなく、友だちのことにも気持ちが向けられるようになってきた。

### ②遊びへの取組について

築山で水流しをしていた年長児の遊びに触発されて、自分たちも「水流しをしてみたい」と、雨どいを使っての水流し遊びを楽しみ始めた。築山での遊びの経験をいかし、砂場で雨どいを使っての水流しが始まった。そして学級のほとんどの子どもたちが関わり、水流し遊びを楽しんだ。その中で雨どいの組み方を工夫したり、「お寿司を流そう。」と同じ場で遊んでいる友だちとイメージを出し合ったりしながら遊ぶ姿が見られた。同じ遊びの中でも、「遠くまで水や寿司を流したい」「速く水や寿司を流したい」等、その日によって子どもたちの願いが変わっていった。「高いところから流したら、速く水が流れるかも」という発想からビールケースや木の切り株を探す姿や、「遠くまで水を流したい」という願いから雨どいをつなげる姿等、自分たちで必要な道具や用具を探してくる姿も見られた。

また、虫に興味をもって捕まえようと追いかけたり、捕まえた虫をどうするか考えたりして身近な生き物と触れ合う子どもがいる。室内では、空き箱や空きカップを使って自分がイメージした物を作ったり、それを使って遊んだりする子どももいる。園庭の環境を生かした木登りを、年長児や友だちがやっている姿を見て、自分も「やってみたい」「もっと高い所まで登りたい」という願いをもって取り組む姿も見られる。

このように、一人一人が自分の願いやめあてをもって遊び、同じ場にいる数人の友だちと一緒に遊びを楽しんでいる。

### ③人とのかかわり

学級の友だちに自分の気付きやしていた遊びを伝えたいという気持ちが生まれている。また、友だちの気付きや遊びに興味や関心をもち、友だちに気持ちを寄せ、自分の遊びにも生かしていこうとする姿も見られる。友だちの姿から影響を受け、苦手だと感じることに對しても「やってみよう」という気持ちももてるようになってきた。一方、友だちに自分の思いや願いを伝えようとしているが、お互いにうまく伝わらない時は、やりとりの中で折り合いを付けようとする姿もある。

運動会の活動から、学級のみんなで力を合わせることの気持ち良さを感じている。学年での活動や年長児との交流を経験したことで、遊びの中でも学級の枠を超えた関わりを楽しんでいる。

(2) この時期は、年少4期にあたる。自分の力を試す、工夫しながら遊ぶ、遊びを続ける等の姿や、それを土台にさらに遊びや場を共有する友だち数人とイメージや願いを出し合ったり、共有したりして遊ぶ姿が期待できる。

こどもまつりの活動は、これまでに経験した祭りからお店屋さんごっこやショーごっこ等、友だちとイメージを共有しやすい。友だちのアイデアを取り入れたり考えを出し合ったりして、やりとりしながら遊ぶことで、よりおもしろい遊びを展開する楽しさを感じて欲しい。

こどもまつりの活動に取り組んでいく中で、自分が思いつき、試したことを共有のことで、それを糧に活動をつくるようにしたい。そのために、子どもが友だちと一緒にやりとりをしながら遊ぶ良さを経験できるように、お互いのしていることを知り合わせたり、一緒にやってみたり、考えを出し合わせたりする。また、「友だちやお家の人に楽しい遊びを見てほしい」「自分が考えたことを友だちにも楽しんでほしい」という他者を意識した願いをもち、遊びをつくり出し、楽しんでいく姿を期待する。

活動を構想するにあたっては、「気付き・めあてをもつ姿」「発想し、試す姿」「共同する姿」の資質・能力が表れている姿として以下のことを大切にしていく。

○「気付き・めあてをもつ姿」については、園庭のドングリや落ち葉等の豊かな自然物や子どもたちがみつけてきた秋の自然物を利用して遊ぶ姿が予想される。自然物等を利用して遊ぶ中で、子どもならではの気付きや願いが生まれ、それを遊びに生かす姿が期待できる。子どもは、様々な素材に触れ、遊びに生かそうとする中で「きれいだな」「おもしろいな」「○○みたい」「○○にしたらどうかな」等と気付く。教師は、それに対する見通しや予想を受け止め、子どもの「こんなふうにしてみたい」等のめあてになるように結び付けていく。そのために、子どもの興味が何にあるのかを感じ取り、子どもの願いや考え等を価値付け、伝えていくことで、子ども自身が自分の気付きや願いを意識し遊びに意欲的に取り組むことができるようにしたい。

○「発想し、試す姿」については、秋の自然物や様々な素材から子どもが自由に発想し、イメージを膨らませながら遊ぼうとする姿が期待できる。いろいろな方法や遊びに必要な物を見つけるためには、それまでの経験が影響してくるだろう。そこで、買い物に行くこと、ダンボール遊びをすること等意図的に様々な体験や素材を使った活動を取り入れてい

く。これまでの経験を遊びに生かそうとしたり，いろいろと試したりする中で自分たちの遊びに必要な物を探したり，作ったりしながら遊びを展開できるようにする。

○「共同する姿」が生じるようにするためには，子どもが友だちの遊びにも関心をもち，一緒にやりたいという願いが芽生えてくることが大切である。そこで教師は一人一人の遊びを認めるとともに，友だちの遊びに目を向けられるように遊びの場や学級で共有する時間を設けたり，言葉でつないだりする。楽しさや嬉しさ，悔しさ等子ども同士の気持ちが伝わり合うように，タイミングを見て個々の思いを他の子どもへ伝えていく。また，子ども同士がやりとりしながら遊ぶことで，意欲が高まったり，遊びの幅が広がったりする姿を引き出すことをねらう。子どもが友だちの願いや考えを聞いたり友だちに伝えたりすることでイメージが共有され，それぞれの子どもが遊びの中で自分なりの役割をもって遊ぶことで，より遊びが深まっていくと考える。

#### 4 展開計画

	ねらいと内容	◇願う子どもの姿
10月3週～10月5週	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な自然に触れ，遊びに取り入れたり，いろいろなことに気付いたりする。</li> <li>・園庭の木の实や落ち葉をみつけ，集める。</li> <li>・みつけた自然物を使って遊ぶ。</li> <li>○様々な素材に触れたり，祭りに関わる体験をしたりする。</li> <li>・段ボールを使って遊ぶ。</li> <li>・近所のパン屋さんに買い物に行く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇夏の園庭との違いに気付き，秋の自然に興味をもつ姿</li> <li>◇秋の自然物を使って遊ぼうとする姿</li> <li>◇様々な素材に触れ，自分のイメージに合わせ，遊びに取り入れようとする姿</li> <li>◇お店屋さんごっこに興味をもつ姿</li> </ul>
11月1～2週	<ul style="list-style-type: none"> <li>○祭りのイメージをもち，自分の思いやイメージを様々に表して遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・お店屋さんごっこやショーごっこ，まつりごっこ等のごっこ遊びを楽しむ。</li> <li>・遊びに必要な物を考えながら作る。</li> <li>・一緒に遊んでいる友だちと，どんなことをするか等やりとりしながら考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇楽しいことやにぎやかなことをイメージし，やりたいことを考える姿</li> <li>◇具体的なイメージをもち，遊びに必要な物を作ろうとする姿</li> <li>◇自分の思いや考えを友だちに伝えたり，友だちの思いを受け入れたりする等，やりとりしながら遊ぶ姿</li> </ul>
11月3～4週 (含本日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分のしたいことを楽しみ，遊びの中で友だちとやりとりをしながらイメージを共有していく楽しさを味わう。</li> <li>・自分の思いやイメージにあった物や場を作って遊ぶ。</li> <li>・自分の思いや考えを友だちに伝えたり，友だちの話を聞いたりしながら遊ぶ。</li> <li>○自分たちで作った祭りの遊びを，家の人や友だちにどう楽しんでもらうかを考えながら遊ぶ。</li> <li>・お家の人に見てもらうことを楽しみにしながら，さらに遊びを進めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇友だちとのやりとりの中で，イメージを共有して自分なりの役割をもって遊ぶ姿</li> <li>◇自分たちで作ったものを試しながら遊び，より楽しめるように工夫していく姿</li> <li>◇いろいろな友だちや家の人にも遊んでほしいと，他者を意識しながら作ったり遊んだりする姿</li> </ul>
11月5週	<ul style="list-style-type: none"> <li>○こどもまつりでお家の人や友だちに見てもらったことを喜び，満足感をもちながら自分たちが終止感をもつまで遊びを続けていく（遊びきる）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇こどもまつりを振り返って，自分が経験したことを言葉で表現する姿</li> <li>◇充実感を感じながら，自分たちの店や活動を満足するまで続ける姿</li> </ul>